



なんで「橘」

垂仁（すいにん）天皇の命を受けた田道間守（たじまもり）が苦勞の末に不老不死の靈菓、橘（非時香菓 ときじくのかぐのこのみ）を探し出し、大陸から持ち帰って常世の浜（木津の浜）にたどり着いた。しかし天皇は亡くなっていたので一部は朝廷に献上し、残りは丹後の地（現在の木津）に残したそうだ。また現在の菓子の原型ともいわれている。

「タジマモリとトキジクノカグノコノミ」

なんで橘って名前になったのかな？

橘のことを知り、大きなキャンバスに絵を描いてみよう！

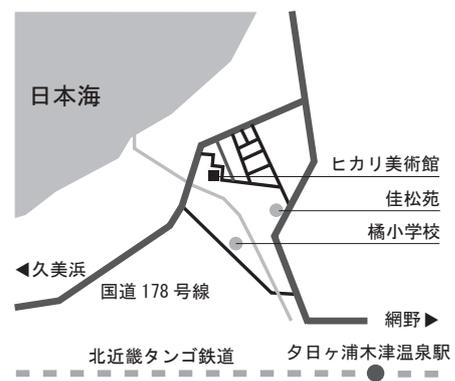
参加費  
無料

- 場所 ヒカリ美術館
- 講師 伴とし子先生 古代史研究家  
和久傳「森の中の家安野光雅館」副館長
- 絵画指導 池田修造 東村幸子 ヒカリ美術館
- 対象者 橘小学校区の子どもと保護者 10名程度

月 日	時間	事業計画の内容
9月27日（日）	14：00～14：30	地域の伝承（タジマモリの話を聞く）
	14：30～16：00	古代と現代をつなぐ絵画制作
10月4日（日）	14：00～14：30	地域の伝承（タジマモリの話を聞く）
	14：30～16：00	古代と現代をつなぐ絵画制作
10月5日（月） ～11日（日）	10：00～17：00	「～子どもが描く地域の伝承～ 「タジマモリとトキジクノカグノコノミ展」

三密を避け二回に分けています。  
9 / 27・10 / 4 のいずれかにご参加ください。

■〈お問い合わせ・申し込み〉ヒカリ美術館  
〒629-3245  
京都府京丹後市網野町浜詰 677-19  
TEL・FAX 0772-74-1009  
開館時間 AM10：00～PM5：00  
休館日（毎週 火曜日・水曜日）但し、10 / 5～11 は開館します。



www.hikaribijyutukan.net

令和2年度文化庁伝統文化親子事業・京都府「未来に伝える次世代育み事業」

主催 文化庁 京都府 ヒカリ美術館